

登録コード	UAF18500	開講年度	2026				
授業題目	障害児・障害者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）				担当教員	高橋 知音 他	
					副担当	向井 秀文	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2 時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学， 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学， 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。				福祉分野の心理支援に関する高度な知識と技能を有する。		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学， 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				福祉分野の心理支援に関する高度な知識と技能を有する。		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理・長野臨床】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				福祉分野の心理支援に関する高度な知識と技能を有する。		
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学， 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学， 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学， 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				障害児・者のアセスメントに関する高度な知識と技能を有する。		
					障害児・者のアセスメントに関する高度な知識と技能を有する。		
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。						
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				福祉分野の心理支援に関する高度な知識と技能に基づき心理支援に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。		
(2)授業の概要	準備されたテーマについて、受講生が資料にまとめ、パワーポイントを使って発表する。 その内容について、ディスカッションを行う。 自分の発表内容に関して、4 肢選択の問題を3問作成する（最後に確認テスト）。 発達障害に関するビデオを見て、その内容についてのディスカッションを行う。 各授業の最後に、感想、残された疑問、新たな疑問を記入。						
(3)授業計画	第1回：障害を理解する枠組 ICFモデル 第2回：障害者・障害児福祉に関する理論と支援 第3回：児童福祉に関する理論と支援 第4回：高齢者福祉に関する理論と支援 第5回：知的能力障害群 第6回：知能のアセスメント、適応行動のアセスメント 第7回：コミュニケーション症群 第8回：自閉スペクトラム症 第9回：ASDのアセスメント 第10回：注意欠如・多動症 第11回：ADHDのアセスメント 第12回：限局性学習症 第13回：運動症群 第14回：LDのアセスメント 期末試験の有無 無 ＊授業最終回に授業アンケートを実施します						
(4)成績評価の方法	プレゼンテーション 50% ディスカッションへの参加 20% 感想、残された疑問、新たな疑問の書き込み（発表者は、感想への感想、質問への回答） 30% 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可						
(5)成績評価の基準	発達障害の概念、検査法、支援法、福祉分野に関する理論と支援の展開について理解した上で他の受講生の理解を促進するような説明ができれば「卓越している」、一部に不十分な点があるだけなら「かなり上にある」、いくつかの部分に不十分な点があれば「やや上にある」、いずれも不十分な点を残しつつもすべての課題をこなすことができれば「水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	受講生は、発達障害の概念、検査法、支援法、福祉分野に関する理論と支援の展開について各自で参考資料を調べ、授業内で他の受講生が実施法（解釈法）を理解できるように資料を作成する。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(7)履修上の注意	なし						
(8)質問、相談への対応	高橋知音研究室（N317） e-mail: tomonet@shinshu-u.ac.jp						

【教科書】	第一回目の授業の際に指示する
【参考書】	日本精神神経学会 DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル 医学書院 神尾陽子 DSM-5を読み解く 神経発達症群，食行動障害および摂食障害群，排泄症群，秩序破壊的・衝動制御・素行症群，自殺関連 中山書店 辻井正次監修 発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン 金子書房 稲垣 真澄 他 特異的発達障害診断・治療のための実践ガイドライン—わかりやすい診断手順と支援の実際 診断と治療社 中島健一 公認心理師の基礎と実践 福祉心理学 遠見書房 野島一彦 公認心理師の基礎と実践 関係行政論 遠見書房